



▲山下清和副町長

**前副町長山下清和氏が  
副町長に再任されました**

5月9日開催の臨時議会で副町長に再任され、5月10日就任しました。

**健康福祉フェアに1万2千人が訪れました**

初夏を思わせる好天に恵まれた4月29日、大中遺跡公園、野添であい公園で健康と福祉をテーマとした恒例イベント「第27回播磨町健康福祉フェア」が開催されました。

ステージでは、活動的なダンスや武道の披露のほか、ウォーキング前の準備体操や介護予防体操のプログラムなども盛り込まれ、ステージに合わせて体を動かす人も多くありました。また、会場いっぱい健康チェックや多種多様なスポーツなどの体験コーナーが用意され、訪れた人は楽しみながら健康的な生活習慣のヒントに触れていました。



▲乳がんの自己検査体験（健康コーナー）



▲鉄棒に挑戦（子育て広場）



▶手話体験  
(福祉大会会場)

**緑のカーテンで夏を涼しく  
緑のカーテン講習会を開催**

夏の強い直射日光をさえぎる「緑のカーテン」は、建物内の温度が上昇することを防ぐ効果があると言われていいます。昨年度、町では、役場などの公施設でゴーヤを使った緑のカーテンづくりに取り組み、その生育過程と実際に温度を計測した結果をホームページに皆さんに報告しました。

今年度は、住民の皆さんと共に緑のカーテンづくりに取り組むために、4月29日健康福祉フェアの会場内で、県立農業高等学校の山川和也教諭を講師に招き「緑のカーテン講習会」を開催しました。



会場となった県立考古博物館の講堂には、花づくりに関心のある人を中心に、午前と午後合わせて100人が参加し、

植えつけるための土作りから収穫後のゴーヤの食べ方に至るまでを、熱心に質問しながら楽しく学びました。

※企画グループでは、見事に育った緑のカーテンを自慢する写真を募集します。秋には、「グリーンカーテンをひろげる会」が写真展を企画していますので、講習会に参加しなかった方もぜひ緑のカーテンづくりにご参加ください。あわせてゴーヤ料理のレシピもお待ちしています。

▼問合せ 企画グループ  
☎079(435)0356



▲県立農業高等学校で育成したゴーヤの苗を同校生徒から受講者に配布しました



**播磨ふれあいの家  
だより**



▲昨年のマラソン大会風景

今年もダム湖マラソンが開催されます。東日本大震災でいろいろな行事が中止や延期になっていますが、日本が元気を取り戻すためにも「みんなのカ」で盛り上げていきたいものです。

日時：6月5日(日) 9:20～

播磨ふれあいの家のそばがスタート地点となります。

播磨ふれあいの家より

▶宿泊のご予約 ☎079(678)1481

**わんぱくはりまっ子**



やまうち ゆきと  
**山内 幸人くん(1歳)**  
南野添

沢山遊んで強くなってね！  
お父さん、お母さんより

**楽屋裏**

表紙写真は4月29日に撮影した郷土資料館前のヤエザクラです。郷土資料館の開館と同時に昭和60年に植樹されて以来、毎年見事な花を見せていた桜ですが、平成19年、大中遺跡公園造成工事の際に枝を大きく切り、一部は移植をするという桜にとって大変な負担になる手を加えました。

このため、花の少ない年が続いていたのですが、今は訪れる人々に元気を与えてくれる見事な花のトンネルを作るまでの復活を遂げました。力強い生命力を感じます。  
(宮)

**いいね!  
はりま**

町政  
レポート  
No.53



▲期日前投票の様子

新緑の美しい季節となってまいりました。寒暖を繰り返しながら、町内の景色も初夏へと衣替えをしつつあります。さわやかな緑風に吹かれて、町内の花巡りなどができそうです。

◆4月24日、播磨町議会の選挙が行われました。住民生活に大きく関係する一番身近な選挙ですが、残念ながら、投票率は町会議員の選挙としては過去最低の51.4%でした。この選挙で7人の新人議員が誕生し、14人が就任されました。5月9日に初議会(臨時議会)が開催されました。選挙中「当選したら是々非々で住民のために…」といわれていた議員の方々が、今後、有権者の期待を裏切らない公正公平な政治姿勢を貫かれることを期待しています。4月1日から実施された「播磨町議会基本条例」が議会運営の確かな指針となり、住民福祉の向上に寄与されることを願っています。

◆副町長が再任されました。3月議会で否決された副町長の同意案件ですが、臨時議会において再度提案し、7対6で可決されました。反対意見として議員の方からは「経費削減のため副町長を置かなくていいのでは」という意見もありましたが、副町長の職は大変重要であり事務方のトップとして、日々、大きな役割を果たされています。また、町長と同様、大きな責任も負っています。今回の東日本大震災で、ある町では被災された町長に代わり、副町長が陣頭指揮をとられているところもあります。危機管理の面においても、これ以上副町長不在の状況を長引かせることは大変憂慮すべきことと考えておりましたので、今回、組織の本来あるべき姿に戻れたということで大変有り難く思っています。副町長に再度就任されました山下清和副町長や町職員共々、まちの発展のためいっそうの努力をしてみたいと思っております。

播磨町長 清水ひろ子